

福岡県

フクオカベンチャーマーケット(FVM)の展開

ベンチャー企業とビジネスパートナーとのマッチングの場である「フクオカベンチャーマーケット」(FVM)の登壇企業は1400社を超え、日本、アジア企業の市場型ベンチャー育成システムとして定着

また、先端成長産業の育成・拠点化のため、シリコンシーベルト福岡プロジェクト、福岡バイオバレープロジェクト等を推進することで、**約300社のベンチャー企業が進出・新規創業**

本県の平成18年度末時点の大学発ベンチャー企業数は、95社で全国5位の実績。うち平成18年度設立件数は11社で全国第2位。これら官民一体となったベンチャー支援により、**本県の創業率は全国トップクラスで推移**(平成17年度 第2位)

実績

マンスリーマーケット(年10回):プレゼンテーション・商談会

*平成11年11月から平成20年2月までに1000回、延べ1,436社がプレゼンテーション県内に限らず、広く国内外から参加

福岡県815社(57%) 県外568社(39%) 海外53社(4%)

バラエティに富んだプレゼン企業

情報・通信:19% 生活支援・アムズメント:18% 環境・リサイクル・省エネ:12%
ビジネス支援:9% 新製造技術:9% 医療・福祉・バイオ:9% その他:24%

ビッグマーケット(年2回):プレゼンテーション・商談会 製品展示会 交流会

*製品展示企業:延べ892社、来場者:平均1,000名/回

新たな取組

開催形態の多様化(プレゼンテーション・商談会、製品展示会)

*バイオ、IT、ロボットなど分野特化型や、各地の支援機関との連携による地域特集、大学との連携による大学発ベンチャー特集などによるマッチング効果の向上

首都圏における販路開拓支援

*在京のバイオ、ITなどの分野におけるベンチャー支援の第一人者を「ふくおかベンチャー応援団」として組織。また、ベンチャーの首都圏における活動拠点として「東京ビジネスセンター」を福岡県東京事務所内に設置。

成果

商談開始企業:945社(67%)

商談成約企業:236社(17%)

登壇による商談成立額は、160億円規模。ほかに業務提携や販売先拡大など多数の成約。

【商談成約内訳】20.1までのプレゼン企業に対するアンケート結果(回答のみ)

販路拡大:130社 資金調達:69社 業務提携:65社
FC展開:7社 その他:15社

22社の企業が、上場等に至る(上場等による資金調達額 約87億円)

東証2部公開:1社 ジャスダック公開:2社 マザーズ公開:3社
Qボード公開:7社 グリーンシート登録:9社



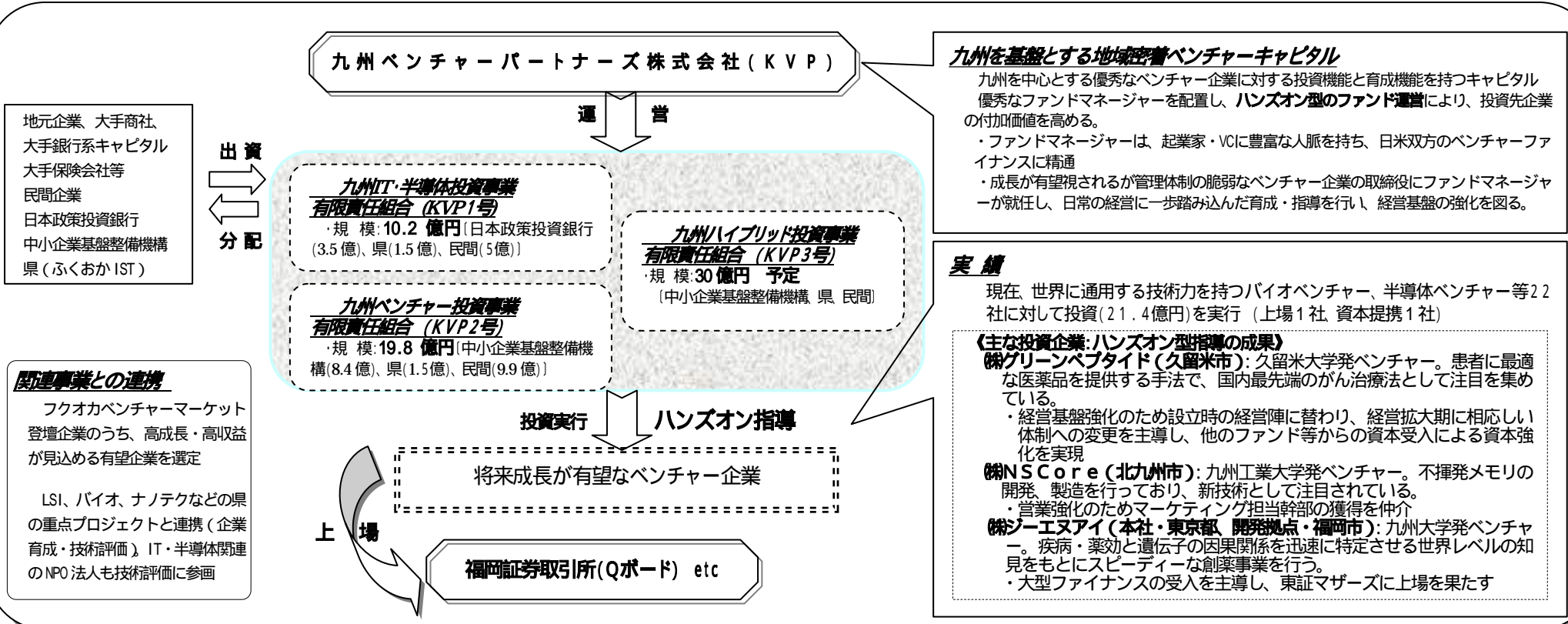
(プレゼンテーション)



(製品展示会)

地域ベンチャー投資ファンドの展開

福岡・九州には優れた技術や商品を持った多様なベンチャー企業が登場しているが、全国・世界に羽ばたくベンチャー企業の育成のためには、地域独自のベンチャー投資ファンドが必要。
 このため、地域発(密着型)のベンチャーキャピタルとして、平成15年11月、県や地元企業などにより、九州ベンチャーパートナーズ株式会社(KVP)を設立し、このKVPが無限責任組合員となる2つのファンドを平成16年7月に立ち上げた。現在、ベンチャー企業が早期に成長軌道に乗るように日常的な経営指導を行うハンズオン型投資を22社に対して実施。
 今後、志の高い経営者との地域活性化を旨とし、フクオカベンチャーマーケット登壇企業を中心に投資する3つ目のファンドを平成20年度に設立予定



地元企業、大手商社、大手銀行系キャピタル、大手保険会社等、民間企業、日本政策投資銀行、中小企業基盤整備機構、県(ふくおかIST)

関連事業との連携
 フクオカベンチャーマーケット登壇企業のうち、高成長・高収益が見込める有望企業を選定
 LSI、バイオ、ナノテクなどの県の重点プロジェクトと連携(企業育成・技術評価) IT・半導体関連のNPO法人も技術評価に参画

九州を基盤とする地域密着ベンチャーキャピタル
 九州を中心とする優秀なベンチャー企業に対する投資機能と育成機能を持つキャピタル。優秀なファンドマネージャーを配置し、ハンズオン型のファンド運営により、投資先企業の付加価値を高める。
 ・ファンドマネージャーは、起業家・VCに豊富な人脈を持ち、日米双方のベンチャーファイナンスに精通
 ・成長が有望視されるが管理体制の脆弱なベンチャー企業の取締役役にファンドマネージャーが就任し、日常の経営に一步踏み込んだ育成・指導を行い、経営基盤の強化を図る。

実績
 現在、世界に通用する技術力を持つバイオベンチャー、半導体ベンチャー等22社に対して投資(21.4億円)を実行(上場1社、資本提携1社)
《主な投資企業:ハンズオン型指導の成果》
㈱グリーンベプタイト(久留米市):久留米大学発ベンチャー。患者に最適な医薬品を提供する手法で、国内最先端のがん治療法として注目を集めている。
 ・経営基盤強化のため設立時の経営陣に替わり、経営拡大期に相応しい体制への変更を主導し、他のファンド等からの資本受入による資本強化を実現
㈱NScore(北九州市):九州工業大学発ベンチャー。不揮発メモリの開発、製造を行っており、新技術として注目されている。
 ・営業強化のためマーケティング担当幹部の獲得を仲介
㈱ジーエヌアイ(本社・東京都、開発拠点・福岡市):九州大学発ベンチャー。疾病・薬効と遺伝子の因果関係を迅速に特定させる世界レベルの知見をもとにスピーディーな創薬事業を行う。
 ・大型ファイナンスの受入を主導し、東証マザーズに上場を果たす

創業率は全国トップクラスで推移

FVM、地域ベンチャー投資ファンドをはじめとする官民一体となったベンチャー支援により、本県の創業率は全国トップクラスで推移

創業率全国順位(%)

	H13	H14	H15	H16	H17
第1位	沖縄 5.62	沖縄 4.96	沖縄 5.11	沖縄 5.06	沖縄 5.25
第2位	福岡 4.73	奈良 4.38	福岡 4.60	福岡 4.79	福岡 4.86
第3位	奈良 4.36	福岡 4.22	奈良 4.57	奈良 4.60	東京 4.79

資料:国税庁「国税庁統計年報書」、法務省「民事訴訟人権統計年報」